評価項目						評価点配分　◎＝配点×100%　　○＝配点×70%　　△＝配点×50%					
						項目の概要					
分類				配点		駅北庁舎隣接地（音羽町1丁目）	評価	点数	日ノ出町	評価	点数
利便性	1	ネットワーク型コンパクトシティの形成	都市計画	10	30	都市計画との整合性 ①人口重心地（H27国調　多治見市音羽町1丁目45番地内北側）から直線180m ②都市計画マスタープラン　中央部市街地エリア（駅周辺地区） 　都市としての拠点性を高める ③立地適正化計画　中心市街地（都市機能誘導区域） ④用途地域　商業（特別工業地区） ⑤容積率400%　建ぺい率80% ⑥校区人口　62,720人（R1.10現在） （精華14,582、共栄4,711、小泉11,579、池田5,920、南姫4,742、根本11,739、北栄9,447） ⑦人口密度　12,848人/km（世帯数5,522） ⑧小売業売場面積　40,780㎡	◎	10	都市計画との整合性 ①人口重心地（H27国調　多治見市音羽町1丁目45番地内北側）から直線1.3km ②都市計画マスタープラン　中央部市街地エリア（川南地区） 　「オリベストリート構想」に基づくまちづくり ③立地適正化計画　中心市街地（都市機能誘導区域） ④用途地域　商業 ⑤容積率400%　建ぺい率80% ⑥校区人口　47,638人（R1.10現在） （養正8,386、昭和7,800、市之倉6,370、滝呂9,199、脇之島6,174、笠原9,709） ⑦人口密度　11,373人/km（世帯数4,711） ⑧小売業売場面積　26,952㎡	○	7
	2		公共交通機関	10		至近駅からの距離、公共交通機関の利便性 （1）JR・東鉄多治見駅から徒歩2分 ①JR中央線　上り89便　下り91便　　③太多線　上り39便　下り38便 ②東鉄バス　13ルート 上り249便　下り242便　　④ききょうバス　3ルート　合計30便	◎	10	至近駅からの距離、公共交通機関の利便性 ①ききょうバス坂上ルート市役所（西口、南口）バス停前（徒歩0分） （多治見駅から5分　1日11便）	△	5
	3		市全域からのアクセス	10		市南北からのアクセスの課題 北から国道19号線を横断、南から土岐川・JRを横断	◎	10	市南北からのアクセスの課題 北から国道19号線・土岐川・JRを横断	○	7
	4	他の官公署との関係		10	20	他の官公署（国、県の機関）、駅北庁舎との距離、利便性 ①駅北庁舎　0km　　⑤税務署　230m ②東濃西部総合庁舎　1.9km　　⑥労働基準監督署　600m ③多治見警察署　1.2km　　⑦国交省多治見砂防国道事務所　2.0km ④法務局　850m　　⑧国交省土岐川出張所　1.4km	◎	10	他の官公署（国、県の機関）、駅北庁舎との距離、利便性 ①駅北庁舎　1.7km　　⑤税務署　1.5km ②東濃西部総合庁舎　2.8km　　⑥労働基準監督署　2.4km ③多治見警察署　3.2km　　⑦国交省多治見砂防国道事務所　1.2km ④法務局　2.7km　　⑧国交省土岐川出張所　1.3km	○	7
	5	駐車場の確保		10		来庁者及び公用車の駐車場を確保できる。 近接地立体駐車場（4層5段）　249台	△	5	来庁者及び公用車の駐車場を確保できる。 敷地内来庁者用駐車場　100台　（公用車用　58台　借地公用車駐車場　14台） 建設工事中に仮設駐車場が必要	○	7
	＊障がい者・高齢者の利便性については、アクセスは2及び3で評価し、バリアフリーは建物の設計で対応する。										
防災拠点	1	災害時における庁舎へのアクセス		5	20	緊急時の輸送対応が可能。 (1)幹線道路からのアクセス、外部からの復旧支援 ①国道19号線十九田交差点から800m（車で5分） ②国道248号線音羽町4交差点から450m（車で2分） (2)多治見市防災マップ（浸水）から引用 ①17街区周り浸水深0.5m未満　　西、北西側1.0～2.0m ②北側　安養寺あたり、東側　天の湯あたりまで浸水域　最大1.0～2.0m	◎	5	緊急時の輸送対応が可能。 (1)幹線道路からのアクセス、外部からの復旧支援 　国道19号線から土岐川の横断が必要 ①国道19号線上山町交差点から1km（車で5分） ②国道248号線平和町5交差点から1.7km（車で7分） (2)多治見市防災マップ（浸水）から引用 ①西側小路町が浸水深1.0～2.0m　以西2.0～5.0m ②北側オリベストリートまで0.5～1.0m　以北0.5m未満	○	3.5
	2	防災拠点としての安全性		10		地震に強い地盤、浸水、土砂崩れなどの恐れがない。 (1)国道19号線と土岐川に挟まれた近隣区域で土砂災害警戒区域、特別警戒区域なし (2)多治見市防災マップ（地震）から引用 ①地震最大震度　5.8以上5.9未満（5段階中4） ②液状化発生危険度　かなり高い（PL値15以上30未満）（4段階中4） ③建物全壊率　庁舎敷地2～3%（8段階中3） ④重症者数　8人以上～10人未満（5段階中5） ⑤火災出火棟数　1.2以上1.4未満（7段階中7） (3)多治見市防災マップ（浸水）から引用 ①土岐川浸水深　0.5m未満 ②内水氾濫水深　南側一部0.2～0.5m ③内水、外水同時　2m未満区域	◎	10	地震に強い地盤、浸水、土砂崩れなどの恐れがない。 (1)近隣に土砂災害警戒区域（土石流）、土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）が広範囲に存在 (2)多治見市防災マップ（地震）から引用 ①地震最大震度　5.8以上5.9未満（5段階中4） ②液状化発生危険度　かなり高い（ＰＬ値15以上30未満）（4段階中4） ③建物全壊率　庁舎敷地2～3%（8段階中3）（一部4～5% 8段階中5）駐車場敷地3～4%(8段階中4) ④重症者数　8人以上～10人未満（5段階中5） ⑤火災出火棟数　0.8以上1.0未満（7段階中5） (3)多治見市防災マップ（浸水）から引用 ①土岐川浸水深　庁舎敷地0.5m未満　駐車場敷地0.5～1.0未満 ②内水氾濫水深　駐車場の一部及び駐車場・庁舎周り0.2～0.5m ③内水、外水同時　2m未満区域	○	7
	3	災害時の機能性		5		消防・警察との迅速な連携が可能 ①多治見警察署　1.2km　　⑤多治見市民病院　1.1km ②消防本部南署　1.6km　　⑥県立多治見病院　1.5km ③北署　1.9km　　⑦国交省多治見砂防国道事務所　2.0km ④笠原署　6.6km　　⑧国交省土岐川出張所　1.4km	○	3.5	消防・警察との迅速な連携が可能 ①多治見警察署　3.2km　　⑤多治見市民病院　1.6km ②消防本部南署　1.2km　　⑥県立多治見病院　2.3km ③北署　3.1km　　⑦国交省多治見砂防国道事務所　1.2km ④笠原署　6.0km　　⑧国交省土岐川出張所　1.3km	○	3.5
	＊建物は免震構造とする										
経済性	1	建設コスト		20	30	建設コストを抑えることができる。 建設コスト　5,187,196千円　（立体駐車場含む）	◎	20	建設コストを抑えることができる。 建設コスト　5,604,745千円（仮設駐車場含む）	○	14
	2	ランニングコスト		10		維持コストを抑えることが出来る。 ①借地料　14,000千円/年 ②削減可能額　25,900千円/年	◎	10	維持コストを抑えることが出来る。	○	7
合計				100				93.5			68